

阿波名所圖會

上

27

庫	文	圖	內
一七六	二九三	二九	和
函	二	冊	書
架	冊	號	類



書	圖	省	務	內	甲
號	七	二	〇	一	一
類	理	地	部	書	和
函					
冊	二				共

		二	和
		九	書
		三	門
		二	
		三	
		六	
		九	
冊	二	二	
函	一	二	
號	一	七	
	二	九	

內閣文庫	番號	和 29329
	冊數	2 (1)
	函號	176 27

地六五



阿波名所圖會卷上

目錄

鳴門 <small>なると</small>	阿波升神社 <small>あわかのしんじや</small>	里波土の井 <small>さとらつちのい</small>	磯岸松 <small>いそがしのみまつ</small>
人麻呂社 <small>ひとまろのしや</small>	渡少納云塚 <small>せいせうなごのつち</small>	本津上浦 <small>ほんつうのうら</small>	大滝山 <small>おほたきのやま</small>
藍玉 <small>あいにたま</small>	矢上櫛 <small>やののくし</small>	櫻石池 <small>さくらいしのいけ</small>	井古寺 <small>いふるのてら</small>
観音寺 <small>くわんおん</small>	國分寺 <small>くにぶん</small>	老樂寺 <small>らうらく</small>	一宮花菴院 <small>いちみやはなうら</small>
焼山寺 <small>やうざん</small>	<small>右唐門三脚堂基印の杖 七圍あるあり</small>	柳の宮 <small>やなぎのみや</small>	十里十箇所 <small>とくりゅうじゅうかんと</small>
大麻山神社 <small>おほあさのしんじや</small>	五百羅漢 <small>ごひやくらくわん</small>	塚 <small>つち</small>	鏡松 <small>かみまつ</small>
兼田の社 <small>かみだのしや</small>	午測 <small>かまはら</small>	牛測 <small>うしはら</small>	雲邊寺 <small>うんぺん</small>
糸戸 <small>いと</small>	高越山神社 <small>たかこしやまのしんじや</small>	種徳山神社 <small>たねとくやまのしんじや</small>	從谷並橋 <small>いやくならびはし</small>
從谷獨木橋 <small>いやくのどくぐくはし</small>	琵琶滝 <small>びばのたき</small>	劍山神社 <small>けんざん</small>	鳥滝 <small>とりたき</small>
土竈 <small>どぐま</small>	蜂 <small>はち</small>	岩津 <small>いわづ</small>	芳野川 <small>よしのかが</small>



阿波名所圖會卷上
 鳴門 阿波升神社 里波土の井 磯岸松
 人麻呂社 渡少納云塚 本津上浦 大滝山
 藍玉 矢上櫛 櫻石池 井古寺
 観音寺 國分寺 老樂寺 一宮花菴院
 焼山寺 五百羅漢 柳の宮 十里十箇所
 大麻山神社 塚 鏡松
 兼田の社 午測 牛測 雲邊寺
 糸戸 高越山神社 種徳山神社 從谷並橋
 從谷獨木橋 琵琶滝 劍山神社 鳥滝
 土竈 蜂 岩津 芳野川

かひはく移く世の中ももたぬ
類とて移く世の中ももたぬ
言ふは心なしにさうくつあえ
こころ持ふらるるを先かた
そのあふれは移りてはた
てりうはくはくはくはくはく
おんよるはくはくはくはくはく

かひはく移く世の中ももたぬ
類とて移く世の中ももたぬ
言ふは心なしにさうくつあえ
こころ持ふらるるを先かた
そのあふれは移りてはた
てりうはくはくはくはくはく
おんよるはくはくはくはくはく

文化財はつらふ

やうに

武者小路實純郷

傲心識

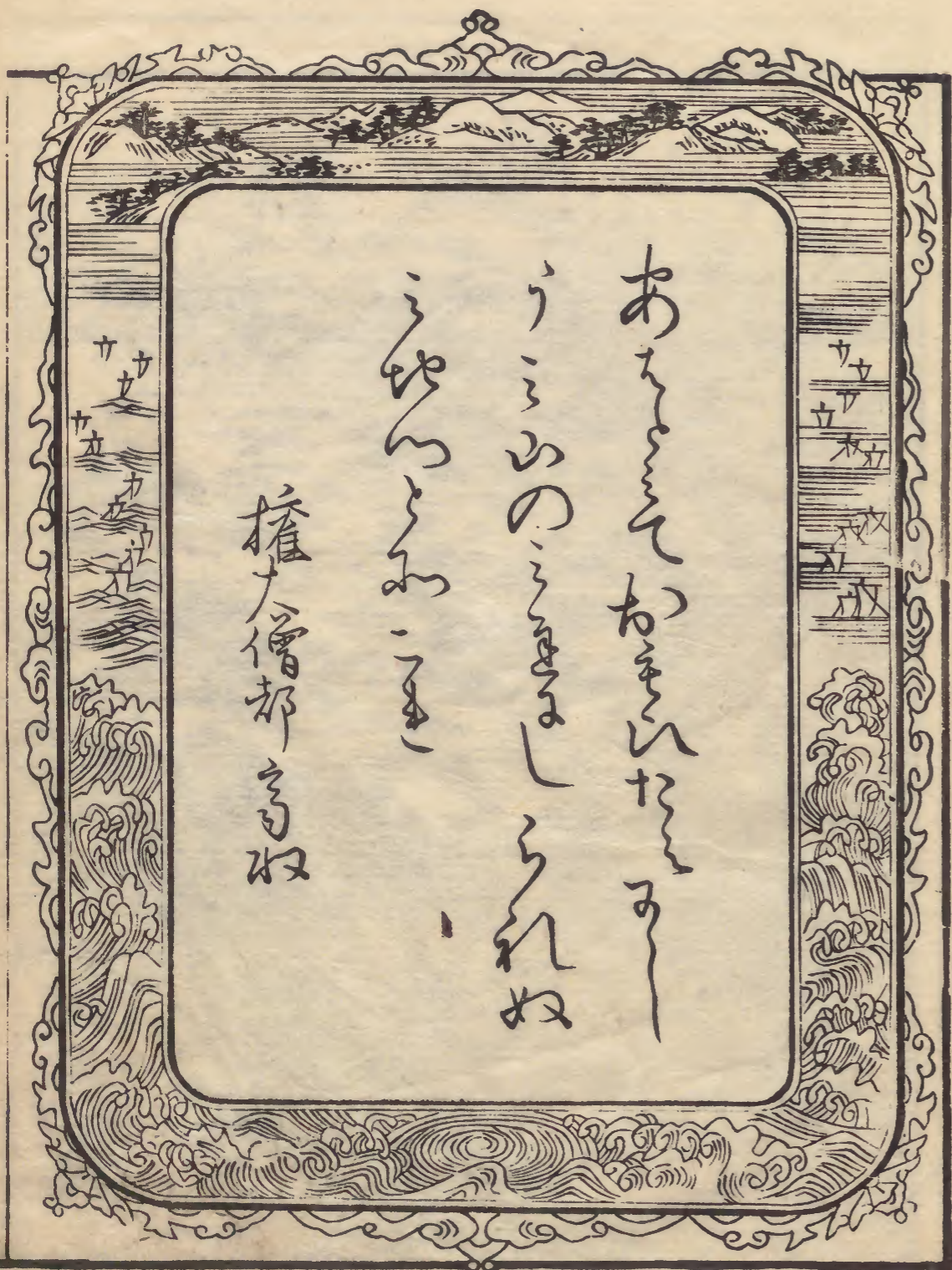
附言

此阿波各所圖會のりと四國行旅せし頃うあつしとる
風系とてはし予が志はくませしをの記あるとあらむ
人々書ふよりして持りし事すまきこのは勝系とらん
おのりくけ書と懐小せよ此巻ハすまつち勝系一覽
の郷守とももきつしと圖ごと小事の概要を記し
て文をくまきせすまき紙のくく速小系のある
とまきしむを要とす故小四國巡拜の式小致まき阿波
國とまきしむとえとしとけ國のほごく頃をりつと目
録あるしぬけまきりれる古跡並場ハおのりあま
書あまきとらふはつと

文化辛未之年中冬

浪美

探古室子墨海依



門 何は後後の境より何はる國板板板板板浦より門の登十七八
大海より海来る船も中國の海より干る波も海干あふは門の境
まづ波のともまき大らあつく多勢あつたま盤石の物倒ふたまもさ
らありこれハクあふあつたま風帆も門の境も海より一は門の境
あり浪倍倍入浪の巖つらてたまもまき海一ともたまきりま浪のた
海三の春さあすは門干浪の時二かひありて二かより海の水滝の如く
海浪のた大海より浪もまき浪の境よりてあつたまも浪もまきあつた
あるまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまき
の浪も海干まきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまき
一は海もまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまき
津よりまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまき

地より入り門より入舟を係り結ひたるゆはありて後人往とるるとく
はゆゆ知言のまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまき
不場より 女人の悦み海音と揚の女は門の境より門の境よりとるると
二章の舟とまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまき
むのううううううううううううううううううううううううううう
鳴門海氣射天新 潮汐震驚百里濱
兼木有切風雨後 鳴顛出沒報舟人
泉州 横塘則
夕これらうのうみうまきまきまきまきまきまきまきまきまきまき
まきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまき
昔もすこれまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまき
あもまなくまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまき
あもまなくまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまき

同 東辰
同 東辰
同 東辰



あろ
よはさふ
ま方校長

若和布
は雨ふ
あま



磯奇

磯の磯松の
墅ふあり

まろり

まろり

まろりめん

星の

おろりめん

磯奇の

本

あはは

里

里

浦風ふ

あはは

里の

たくま

まろり

磯奇

磯奇

○
ハ

あはは
磯の



おんたきざん
大龍山持明院

○十







花の
 春の
 浪花
 下



藍の
 池の
 名あり

鏡
 池

池
 あり



涼しきや
 んごのこゝろ
 楠の陰
 浪花
 龜雅



矢のどきの楠

いとのこり
 板野弘矢と村
 小あり
 太さ十五圍

〇十五

五百羅漢
 板橋村あり
 別荘あり
 大跡の遠跡あり
 一軒あり
 往古あり
 原とあり
 去る宮曆の比より
 我まありて極伝
 を十方よりとる
 日ありす
 大の精舎と創建
 せり
 びほふる塚
 とて古跡あり



五百羅漢
 一のほり
 飛騨果乃
 ありと
 あくそ
 おりひ
 くれハ
 花ハ
 何まで
 づて
 まの
 旅
 依在
 五郎





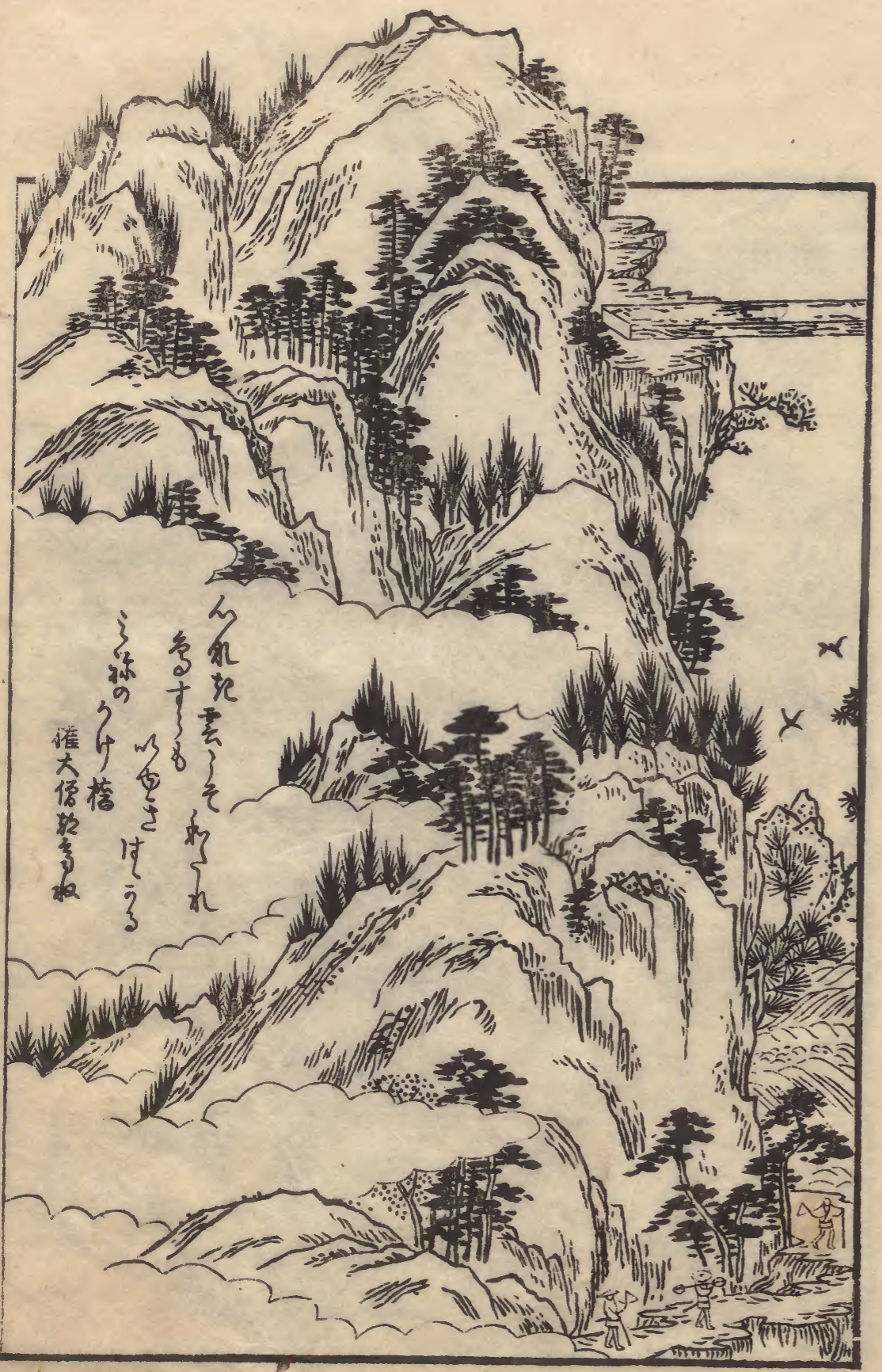
鳴籠 天の敷幅のありは備
 三度一とてきりしり二十餘り
 其の段と上籠とて中々の名を漸
 あり石を投てハ風を起しとせ
 まる川下にも秋毛洞の如く大
 三圖をくりある様う果あり

仙谷のきりぎりす橋



〇十八

ふれれ
きすも
くけ橋
権大信於きり





他谷の橋 他谷の橋とも名づけし 又石橋 石橋あり 柴の橋 あり かわけ
 大わけとく 谷さ なる 土敷 の細 三 倍 を せり も ぐ も び そ う ふ 一 よ せ に 方
 一 つ の 幅 三 尺 長 十 尺 餘 ある 橋 と け り 丹 橋 の り と あり 下 を 見 せ ば さ ら な け り
 舞 の 雀 の お と く が 也 さ ざ ば 他 の 人 の 怖 く 後 は 也 と 女 の 也 と け り 平 道
 の お じ と 一

他谷の橋 他谷の橋とも名づけし 又石橋 石橋あり 柴の橋 あり かわけ
 大わけとく 谷さ なる 土敷 の細 三 倍 を せり も ぐ も び そ う ふ 一 よ せ に 方
 一 つ の 幅 三 尺 長 十 尺 餘 ある 橋 と け り 丹 橋 の り と あり 下 を 見 せ ば さ ら な け り
 舞 の 雀 の お と く が 也 さ ざ ば 他 の 人 の 怖 く 後 は 也 と 女 の 也 と け り 平 道
 の お じ と 一

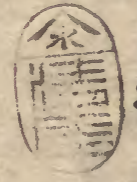
他谷の橋 他谷の橋とも名づけし 又石橋 石橋あり 柴の橋 あり かわけ
 大わけとく 谷さ なる 土敷 の細 三 倍 を せり も ぐ も び そ う ふ 一 よ せ に 方
 一 つ の 幅 三 尺 長 十 尺 餘 ある 橋 と け り 丹 橋 の り と あり 下 を 見 せ ば さ ら な け り
 舞 の 雀 の お と く が 也 さ ざ ば 他 の 人 の 怖 く 後 は 也 と 女 の 也 と け り 平 道
 の お じ と 一

○ 廿

他谷の橋 他谷の橋とも名づけし 又石橋 石橋あり 柴の橋 あり かわけ
 大わけとく 谷さ なる 土敷 の細 三 倍 を せり も ぐ も び そ う ふ 一 よ せ に 方
 一 つ の 幅 三 尺 長 十 尺 餘 ある 橋 と け り 丹 橋 の り と あり 下 を 見 せ ば さ ら な け り
 舞 の 雀 の お と く が 也 さ ざ ば 他 の 人 の 怖 く 後 は 也 と 女 の 也 と け り 平 道
 の お じ と 一

他谷の橋 他谷の橋とも名づけし 又石橋 石橋あり 柴の橋 あり かわけ
 大わけとく 谷さ なる 土敷 の細 三 倍 を せり も ぐ も び そ う ふ 一 よ せ に 方
 一 つ の 幅 三 尺 長 十 尺 餘 ある 橋 と け り 丹 橋 の り と あり 下 を 見 せ ば さ ら な け り
 舞 の 雀 の お と く が 也 さ ざ ば 他 の 人 の 怖 く 後 は 也 と 女 の 也 と け り 平 道
 の お じ と 一

他谷の橋 他谷の橋とも名づけし 又石橋 石橋あり 柴の橋 あり かわけ
 大わけとく 谷さ なる 土敷 の細 三 倍 を せり も ぐ も び そ う ふ 一 よ せ に 方
 一 つ の 幅 三 尺 長 十 尺 餘 ある 橋 と け り 丹 橋 の り と あり 下 を 見 せ ば さ ら な け り
 舞 の 雀 の お と く が 也 さ ざ ば 他 の 人 の 怖 く 後 は 也 と 女 の 也 と け り 平 道
 の お じ と 一



浪花 榎苗
 同 榎苗
 同 榎苗
 同 榎苗

